

11 湯道 熊野山33観音めぐり

かつて文人や里人が愛した共同湯への道
湯ヶ島温泉口のバス停。

天城神社にはユーモラスな顔をし

た狛犬がいる。その昔、ブラリと湯

多くの文人墨客が訪れた湯の里・

天城湯ヶ島温泉には、素敵なお会い

が待っている「湯道」という散歩道

がある。かつて里人や文人たちが共

同湯へ通い、想をめぐらせた小道で

ある。中でも幼い頃、この地に暮ら

した作家・井上靖の名作「しろばん

ば」の舞台となつた湯処である。

修善寺駅から昭和の森会館行き、

湯ヶ島温泉行き、河津駅行きのバス

で29分、湯ヶ島温泉口で下車。車利

用の場合は天城会館に停めるとよ

い。木曽屋の角から湯ヶ島温泉への

車道を入るとすぐに「湯道」の入口。

自然石の案内標から小道を下ると水

路のある分岐。

水路に沿って右へ行き「木漏れ日

の湯」から下るとなまこ壁の美しい

旅館の先に「湯道」の記念碑がある。

バス道に出た所が西平橋。橋の下に

犬猫専用の温泉がある。近くには文

路のある分岐。

水路に沿って右へ行き「木漏れ日

の湯」から下るとなまこ壁の美しい

旅館の先に「湯道」の記念碑がある。



▲熊野山 33 観音



▲さくらの里公園



▲男橋（出会い橋）

人々が通ったという「西平の湯」(現河鹿の湯)と端康成ゆかりの温泉宿「湯本館」がある。河畔に立ち並ぶ温泉宿を見ながらバス道を行くと出会い橋の一つ猫越川にかかる「女橋」があり橋を渡つた先には本谷川にかかる「男橋」がある。猫越川と本谷川が出会い、狩野川となって流れ出すこの地は、男女が巡り会い、心結ばれて新しい人生を歩み始める出会いにも似た所である。夫婦が改めてここで出会いなおすと、より深く結ばれるといわれている。

湯川屋の前から石段を上がり「梶井基次郎の文学碑」を見てこよう。世古橋を渡つて瑞祥橋の手前から本谷川の上流へと歩き、つり橋を渡つて水路沿いの細い道を再び車道へ出る。少し先を左に下ると出会い橋の男橋の入口。階段を上がれば起点の「しろばんばの里」を歩くならば、「さくらの里公園」へ向かおう。

ここに井上靖の詩碑と墓がある。奥には小説「しろばんば」に出てくるおじい婆さん(本名・井上かの)の墓もある。車道を下ると若山牧水の歌碑。33番を見てバス道に下り左に行けば起点の湯ヶ島温泉に着く。

弘道寺の裏に下る。弘道寺は安政4年(1851)米国領事タウンゼント・ハリスが下田から江戸へ東上する時に泊まった所で、山門左にハリスが書いた「日本滞在記」の一節

湯ヶ島小学校の正門には「しろば

んば」の洪成少年とおじい婆さんの像、北門には井上靖詩碑、校舎内に

は井上靖展示室があるが、見学は平

日のみで事前に学校長の許可が必要。

「さくらや」は光一少年のモデル

となった足立秀郎さん宅で、井上靖

の資料が展示されている。「上の家」

は母七恵の実家。足立金物店は洪

作と最も中が良かつた幸夫の家。

井上靖旧居跡はおじい婆さんと暮

らした土蔵の跡でアスナロ(イヌマ

キの木)と「しろばんばの碑」がある。

コースタイム(参考)

所要時間：約1時間10分～2時間

